

## フロイス史料研究事始

伊川 健二

### はじめに

ルイス・フロイスは1563年に来日し、以後1597年に帰天するまで日本布教を担ったイエズス会士として著名である。彼の質量ともに充実した著作群が、その存在感を高めていることも疑いあるまい。本稿が主たる考察対象にするのは『日本史』であるが、それに先立って、他の著作を簡単に紹介したい。

『ヨーロッパ文化と日本文化<sup>(1)</sup> (Europa Japão)』は、邦訳本によっては『日欧文化比較』『日本覚書』ともよばれ、1585年6月14日付で日欧の文化の違いを、服飾や食事などの項目別に14章にわけて解説したもので、各項目の簡潔さや全体も比較的短くまとめられている点で特徴的である。

『九州三侯遣欧使節行記<sup>(2)</sup> (Tratado dos Embaixadores Japões Que Forão de Japão a Roma no ano de 1582)』は、天正遣欧使節が派遣されるにいたるいきさつから、最終目的地ローマへいたり、帰路リスボンを出帆するまでを記す。かつては、フロイス『日本史』の一部とみなされていた時期もあるが<sup>(3)</sup>、現在は『日本史』とは別の著作であると考えられている。この書を必ずしもフロイスの著作としてみない見解もある<sup>(4)</sup>。

『日本二十六聖人殉教記<sup>(5)</sup> (Relación del Martirio de los 26 cristianos crucificados en Nangasaqui el 5 febrero de 1597)』は、1597年3月15日付で、1597年2月5日に長崎の西坂で豊臣秀吉の命により殉教した26名の記録であり、伴天連追放令から彼らの殉教が与えた影響までを語る。

このほか、100通にあまる書簡を記していることを看過することはできないが、『日本史』に焦点を絞ることに本稿の意図があるために、紙幅を割くことができない。ともあれ、これらの著作はすべて、織豊期の日本を考える上で貴重な材料を提供しているのであるが、それらを質量ともに凌ぐのが『日本史』であることはいうまでもない。ところが、ルイス・フロイスの名を知るものであれば、誰もが耳にしたであろうこの書を本格的に研究しようとするほど、その複雑さに頭を悩ませる現状がある。本稿では、その複雑さについて説き起こした上で、どのよ

うにすれば的確に全体を把握することができるかを、邦訳本、校訂本、稿本の3種類に分類した上で考えてみたい。本稿は2018年7月7日の多元文化学会における以上を主旨とする報告に、同年8月にリスボンで実施した文献調査の結果を加味している。

## 1. 邦訳本、校訂本の諸相

フロイス『日本史』の邦訳は古くから諸本があるが、主要なものを指摘するならば、以下の3件で事足りるであろう。

柳谷武夫訳『日本史 キリシタン伝来のころ』全5巻（平凡社、1963～78年）

松田毅一・川崎桃太訳『フロイス日本史』全12巻（中央公論社、1977～1980年）（以下、初版本）

松田毅一・川崎桃太訳『フロイス日本史』全12巻（中公文庫、2000年）（以下、文庫本）

このうち柳谷武夫訳は、ドイツ語からの重訳である上に、現在では第3部までの現存が確認されているうちの第1部のみの収録であるため、以下の考察の対象とはしない。松田毅一・川崎桃太訳の初版本および文庫本とともに検討の俎上に載せるのは、両者が基本的には同内容でありながら、他方で重要な変更点を少なからず含むからである。

重要な変更点とは、ひとつには初版本に多く付されている訳注の多くが、文庫版では省略されていることである。この点は、研究目的の利用に際しては留意が必要である。それに加えて、全12巻中の第1巻から第5巻までの構成が、初版本と文庫本で入れ替えられている。第6巻以降の構成に変更はない。初版本では、第1巻・第2巻豊臣秀吉篇、第3巻・第4巻・第5巻五畿内篇となっているものが、文庫本では、第1巻・第2巻・第3巻織田信長篇、第4巻・第5巻豊臣秀吉篇と変更されている。「五畿内篇」と「織田信長篇」は同内容であるので、初版本の第1～2巻が文庫本の第4～5巻、初版本の第3～5巻が文庫本の第1～3巻とされたことになる。ちなみに、初版本第6～8巻の豊後編、第9～12巻の西九州篇は、文庫本では第6～8巻大友宗麟編、第9～12巻大村純忠・有馬晴信篇と名称が変更されているものの、構成の変更はされていない。

このような変更点を含むとはいえ、松田毅一・川崎桃太訳本が、第1～3部までのすべての章を邦訳した意義は、日本の学界および一般の知的関心にとって強調しすぎてもしすぎることはないだろう。しかしながら、それらをポルトガル語

版、もしくはリスボンの諸機関が所蔵する稿本と比較して本格的に研究しようとする、さらに複雑な壁が立ちはだかることになる。具体的には後掲の表に譲ることにするが、初版本、文庫本ともに、ポルトガル語版の第1部第1章から順番に訳出するという方針に、そもそも依拠していないのである。たとえば、ポルトガル語版の第1部第1章は、初版本、文庫本ともに第6巻第1章として訳出されているのである。松田毅一・川崎桃太両氏の編集方針に基づいてのこととはいえ、時系列順に読み進みたい場合、またはポルトガル語原文と対照させたい場合、両氏の方針はむしろ障壁というほかない。筆者もこの点を早くから問題視し、伊川『大航海時代の東アジア』（吉川弘文館、2007年）242～245頁において対照表を作成しているが、内容に不十分な点も少なくなく、本稿作成にあたって大幅に増補することにした。

フロイス『日本史』のポルトガル語の翻刻としては、次の校訂本が知られている。

Luís Fróis, *Historia de Japam*, 5vols., José Wicki ed. (Lisboa: Biblioteca Nacional de Lisboa, 1976-1984)

この本は、第1～3部までのポルトガル語原文を、注を交えて翻刻したもので、日本の学界からみれば、フロイス『日本史』の本格的研究をはじめる糸口になる文献と位置づけられるだろう。この本は、稿本の第1部第1章から第3部第80章までを順に翻刻している。それゆえに、稿本の順に訳出作業をしていない初版本、文庫本と順序の前後が生じているのである。そればかりではなく、初版本、文庫本と、この校訂本では第1部から第3部までの分割の仕方が異なっていて、その相違点を理解することなしには、邦訳と原文との対照をすることが容易ではない部分が生じている。

校訂本は、後述の稿本の秩序にしたがって、全体を4つの部分にわけ、第1部（校訂本第1～2巻）、第2部（校訂本第3巻）、第2部B（校訂本第4巻）、第3部（第2部Cとも記載される。校訂本第5巻）としている。それぞれ第1部は116章、第2部は43章、第2部Bは63章、第3部は80章の構成である。ただし、章の番号は、稿本において違う章に同じ番号が重複して振られている場合があり、第2部Bは第9章がふたつあるため実質は64章、第3部は第22章がふたつあり実質81章となり、合計304章である。部や章の番号に重複がある点にやや難があるものの、稿本に依拠しているがゆえに、現地調査をする上でも齟齬がなく、本稿も以下はこの部・章番号を基準とする。

第1部の章番号に関しては、初版本、文庫本と校訂本の間に違いはない。この

部分が比較的早くから知られていたためであろう。第2部と第3部をどこで分けるかに関して、初版本、文庫本と校訂本とでは見解を異にしている。後者についてはすでに述べている。初版本、文庫本ともに、邦訳は、第2部を一括して132章、第3部を56章の構成とみなしている。第1部の116章と加算して合計が304章となる点は校訂本と相違ない。他方、校訂本の第2部と第2部Bをたしても107章にしかならず、邦訳の章数は単純に両部を統合した結果とはいえない。それではなぜ邦訳では第2部が132章の長さにわたる構成となったのだろうか。

フロイス『日本史』の稿本の一部は、そもそもマカオで保存されたのち、マニラへ移送される。マニラでの目録のなかに「『日本史第三部 Terceira parte [d] a Historia de Japam 中の章目次、一五九〇年』に初まる三六三葉、なる記述がある (Mns, 96 p. 92~94)」のだと松田毅一氏は述べる<sup>(6)</sup>。この記述に信をおくならば、第3部の内容は1590年からはじまらなくてはならない。校訂本の第3部は1588年からはじまっているので、それとは別の区切りを必要とし、校訂本における第3部第25章を、邦訳（初版本、文庫本）では第3部第1章と番号を振っている。この章から1590年の記述がはじまっているからである。第2部と第3部の構成が、邦訳と校訂本で異なるもっとも大きな原因がここにある。さらに、校訂本では重複している第2部B第9章と第3部第22章には、重複を解消するように章番号を振り直しているため、ここでも章番号にズレが生じている。

2. 稿本の諸相

フロイス『日本史』というからには、かつてはフロイスによる原本が存在したはずだが、残念ながら現存は確認されていない。手書きで筆写された本（写本もしくは稿本という。本稿では後者の表現を用いる）が、ポルトガル共和国リスボン市の3つの機関に、合計6点保存されている。これらが、現在使用しうるフロイス『日本史』のテキストの情報源といえるのだが、以下の名称にあきらかかとおり、『日本史 (Historia de Japam)』と明示されているのは、BAL①（この略称については後述）の1点のみである。

【表1】フロイス『日本史』稿本一覧

アジュダ図書館 (Biblioteca da Ajuda (Lisboa)) 本	
・ BAL, 49-IV-54: Primeira parte da Historia de Japam em que trata da couzas que socederão nesta V. Prov. a que começa por anno de 1549. (以下 BAL ①と略す)	
・ BAL, 49-IV-57: Apparatos para A Historia Ecclesiastica do Bispado de Japam. Noticias do anno de 1588. (以下 BAL ②と略す)	

ポルトガル国立図書館 (Biblioteca Nacional de Portugal) 本	
・ BNP, Cod. 11098: Apparatos para Historia Eccleziastica do Bispado de Macao. Princípio as notícias do anno de 1583. Rezões do P. e Valignano sobre o não entrarem em Japão outros religiosos. フロイス『日本史』以外の次の諸史料と合冊されている。ff. 1-114『九州三侯遣欧使節行記』(以下、『使節行記』)第1章～第24章。ff. 135v-168v『使節行記』第2章(部分)～第9章。ff. 168v-173 ベルチオール・カルネイロとフランシスコ・マスカレーニャスの法令について。ff. 173-185v『使節行記』第10章～第13章(部分)。ff. 226v-228v グレゴリオ13世、フェリペ2世の命令など。ff. 229-293v『使節行記』第13章(部分・承前)～第24章。ff. 346v-360 1586年付のインド副王、コーチシナの報告、A. ヴェリニャーノの書簡。校訂本では「códices 177 360」「Sarda A」と表現される。(以下BNP①と略す)	
・ BNP, Cod. 11099: Apparatos para a Historia Eccleziastica do Bispado de Jappão. Noticias do anno de 1588. マイクロフィルム番号F.6918。校訂本では「códices 177 361」「Sarda B」と表現される。(以下BNP②と略す)	
・ BNP, FG. 9448: Aparatos para Historia Eccleziastica do Bispado de Macao. フロイス『日本史』以外の次の諸史料と合冊されている。ff. 1-12 Noticias do anno de 1557. Principos da Cidade de Macao. ff. 12v-17v Princípio as notícias do anno de 1562など。ff. 298v-311v Principiam as notícias do anno de 1581. など。ff. 311v-342 Catalogus Missionariorum, et Librorum Soccietae Jesu impressorum in China. ff. 347-374v Franciscaccensendisunt 1 <sup>o</sup> . ff.375-382v Catalogus Missionariorum Sinensiu excacro ordine eremitarum D Augustini. ff. 383-395v Discriçam do Imperio da China. ff. 413v-416『使節行記』冒頭。ff. 450v-451v『使節行記』第2章。以上は第1巻(Primeiro tomo)。エチオピア、中国情報を含む全17葉の冊子がつづく。松田毅一『在南欧日本関係文書探訪録』(養徳社、1964年)171頁に概要。マイクロフィルム番号F.64。(以下BNP③と略す)	
海外領土史文書館 (Arquivo Histórico Ultramarino) 本	
・ AHU, CU (Concelho Ultramarino), cod. 1659: Catalogo verdadeiro, e completo dos Bispos e Governadores, que successivam. se regerão a Igreja de Macao. の無題の一部として収められている。重複部分はNoticias de Japãoと題されている。松田1964、187～188頁に概要。(以下AHU①と略す)	

これらの稿本は、現在でこそフロイス『日本史』の第1部から第3部を構成するものと認識されているが、それぞれ異なる機関に異なる書名として保存されているため、所在が確認された時期は一定しない。確認に至る経緯については、初版本第1巻27頁などで松田毅一氏が詳細に論じているので、ここでは再論はしない。BNP①は、フロイス『日本史』第1部であることが明示されているのみならず、早くから日本関係情報が知られていたアジュダ図書館に所蔵され、さらには他の文献を合冊されることがなかったことなどが影響し、1894～95年頃にはすでに知られていた。ところが、他の諸本は表題を異にしている上、なかには所蔵状況が長らく不明だったものもあるため、全3部304章の全貌が安定的に使用可能になるには、1974年を俟たなければならなかった。

このほか東洋文庫にBAL②をインクで筆写し、BNP②との校訂を鉛筆で加筆した写本（貴重書MS-31 *Apparatos para a historia eccleziastica do bispado de Japam*）が存在することが、2018年8月2日に岡本真、小澤奈那および伊川の3名による調査の結果、判明した（本稿後掲「附録」参照）。同写本の80葉のあとに、カルロス・アルベルト・フェレイラ（Carlos Alberto Ferreira）の名を記した紙片が挿入されている。岡本良知氏がアジュダ図書館を訪れた際に、館員がBAL②の謄写してくれた挿話を記している<sup>(7)</sup>が、その館員こそがカルロス・アルベルト・フェレイラであることに照らすならば、東洋文庫の写本はおそらく岡本氏が日本へ持ち帰ったものであろう。この点は、岡本氏の別の著作にも「自分が嘗て昭和五年ポルトガルのアジュダ文庫に於てカルロス・アルベルト・フェレイラ氏に依頼して作った極めて忠実な写本であって、今は東洋文庫の所蔵に歸してゐるものである。」とあることから確認できる<sup>(8)</sup>。館長の名は、明記されていないものの、同写本の冒頭にはジョルダン・アポリナリオ・デ・フレイタス（Jordão Apollinario de Freitas）の名がみえる。この写本はBAL②と同内容であるため、表1には入っていないものの、日本に架蔵されていること、『日本史』第3部の2稿本を比較した注記が付されていることを考慮するならば、学術的な意義は過少評価されるべきではない。

以上により、現在確認されている範囲では、フロイス『日本史』の全体を把握するための情報がそろったといえるのであるが、邦訳本（初版本、文庫本）、校訂本、稿本の対照を容易にするためには、いまま少しの情報整理が必要であり、後掲表2を作成した。

表2は、各部・章を基準に、それらが既存の校訂本、邦訳本、稿本のどの部分に相当するかを整理したものである。部・章の番号は、校訂本と邦訳本の間で違いがあることは本稿第1章で述べたとおりであるが、本表では諸本との対照の便宜を重視する観点から、校訂本を基準としている。とはいえ、部・章の番号は、フロイスが原本を脱稿して以来、何度か振り直された形跡があり、とくにフロイスの原型を想像する上では、校訂本の番号が必ずしも万全とは考えられない。

2018年8月に実施した調査の結果、この点に関して興味深い事実が判明した。BNP②の校訂本第3部第75章に相当する部分は現状では第75章と書かれているが、「第51章」の数字が消されて書かれていたのである。この書き換えは、BNP②が筆写される以前には第51章の番号が与えられていた部分が、同稿本の筆写に際して振り直された可能性を示唆する。松田氏の邦訳本が、この章に第3部第51章という番号を与えていることは表2に明らかとなっておりである。先述のとおり、同氏は第3部が1590年からはじまると認識しており、邦訳本の章番号はそれに基づいている。BNP②における章番号の書き換えは、かつては実際に邦訳本のと



おりの章番号が振られていたことを傍証するものではないだろうか。現存するBAL②およびBNP②の章番号は一致しており、これらの稿本の範囲が校訂本の第3部とみなされているようだが、章番号自体が、原型から変更を加えられた結果であるとするならば、邦訳本の章番号にも一定の顧慮が必要である。

このほかにも、BNP③は、校訂本における第1部第68章を第1章とし、第2部第43章を第90章とするまで、途中脱落があるものの通し番号で章番号を振っている。同書の「第1章」は第68章の数字が消されて書かれているため、当初は校訂本通りの章番号を認識した上で、BNP③を筆写した人物がなんらかの意図のもとに、章番号を振り直したことになる。フロイスの原本が失われている以上、原型を確認することはできないが、現存する稿本が必ずしも原本の秩序にしたがって構成されていない可能性を念頭に置く必要があるのではなかろうか。

このように全体構成については、歴史上、いくつかの異なる章番号が存在していることを確認したが、現存諸本との対照の便宜上、校訂本における部・章の番号を「校訂本部・章」の欄に記し基準としている。この欄における各章が邦訳本、稿本のどの部分と対応するかを示している。「邦訳」は初版本のみを用いている。邦訳本における部・章の認識を「邦訳」欄に記した。とりわけ第2部および第3部の構成について、校訂本と邦訳本の認識が異なることを具体的にみることができるであろう。邦訳本は、校訂本や稿本における第1部第1章から順に訳する構成を採用してはいないのであるが、「初版本巻・章」では校訂本秩序に対応する初版本の部分を示した。

「稿本」欄は、表1の6件の諸本が、校訂本、初版本とどのように対応するかをまとめている。基本的には開始の葉数のみを記しているが、最終章などには適宜開始・終了双方の葉数を入れている。少なからぬ章が、複数の稿本によって残されていることがわかる。校訂本にて、すでに検討されたと思しき点も少なくないものの、さらなる比較研究により、全体構成から個別的な解釈に至るまで、新たな発見が期待できる。「備考」欄には、年次のほか、既述の邦訳本以外の個別的な邦訳がある場合などについて記載した。この欄の詳細については表のあとに注を付したものがあ

【表2】フロイス『日本史』諸本対照表

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
1-Taboada			BAL①, ff. 1-2, 6v-11v	Taboada
1-Prologo			BAL①, ff. 2v-6	Prologo (ff. 2v-6), Ordem (f. 6)
1-001	1-001	6-01	BAL①, f. 1	1549. 本文の葉数は1から

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
1-002	1-002	6-02	BAL①, f. 3v	
1-003	1-003	6-03	BAL①, f. 5v	1550
1-004	1-004	3-01	BAL①, f. 8	1551
1-005	1-005	6-04	BAL①, f. 10	
1-006	1-006	6-05	BAL①, f. 12	
1-007	1-007	6-06	BAL①, f. 14v	
1-008	1-008	6-07	BAL①, f. 19	1552
1-009	1-009	6-08	BAL①, f. 21	
1-010	1-010	6-09	BAL①, f. 22	1553
1-011	1-011	6-10	BAL①, f. 24	1554
1-012	1-012	6-11	BAL①, f. 26v	
1-013	1-013	3-02	BAL①, f. 29	
1-014	1-014	6-12	BAL①, f. 32	1555
1-015	1-015	6-13	BAL①, f. 34	
1-016	1-016	6-14	BAL①, f. 36v	1556
1-017	1-017	6-15	BAL①, f. 41	1557
1-018	1-018	6-16	BAL①, f. 43v	1558
1-019	1-019	6-17	BAL①, f. 47	
1-020	1-020	6-18	BAL①, f. 49v	1559
1-021	1-021	6-19	BAL①, f. 53	
1-022	1-022	3-03	BAL①, f. 54v	
1-023	1-023	3-04	BAL①, f. 57v	
1-024	1-024	3-05	BAL①, f. 61v	1560
1-025	1-025	3-06	BAL①, f. 65	
1-026	1-026	3-07	BAL①, f. 67	
1-027	1-027	3-08	BAL①, f. 71v	
1-028	1-028	6-20	BAL①, f. 75v	1561
1-029	1-029	3-09	BAL①, f. 79v	79葉のあとに白紙がある
1-030	1-030	6-21	BAL①, f. 83v	
1-031	1-031	6-22	BAL①, f. 87v	1562
1-032	1-032	6-23	BAL①, f. 89	
1-033	1-033	6-24	BAL①, f. 92v	
1-034	1-034	3-10	BAL①, f. 97v	
1-035	1-035	3-11	BAL①, f. 100v	
1-036	1-036	3-12	BAL①, f. 104v	
1-037	1-037	3-13	BAL①, f. 106	1563
1-038	1-038	3-14	BAL①, f. 109v	
1-039	1-039	3-15	BAL①, f. 113v	



フロイス史料研究事始

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
1-040	1-040	6-25	BAL①, f. 118	
1-041	1-041	6-26	BAL①, f. 120v	
1-042	1-042	9-01	BAL①, f. 124	
1-043	1-043	9-02	BAL①, f. 128	
1-044	1-044	9-03	BAL①, f. 130v	
1-045	1-045	9-04	BAL①, f. 135	
1-046	1-046	9-05	BAL①, f. 140v	
1-047	1-047	7-27	BAL①, f. 144v	
1-048	1-048	9-06	BAL①, f. 148v	
1-049	1-049	9-07	BAL①, f. 152v	
1-050	1-050	9-08	BAL①, f. 158v	
1-051	1-051	9-09	BAL①, f. 164	1564
1-052	1-052	9-10	BAL①, f. 168	
1-053	1-053	7-28	BAL①, f. 171	
1-054	1-054	3-16	BAL①, f. 173v	
1-055	1-055	7-29	BAL①, f. 177	
1-056	1-056	3-17	BAL①, f. 180	1565
1-057	1-057	3-18	BAL①, f. 184v	
1-058	1-058	3-19	BAL①, f. 188	
1-059	1-059	3-20	BAL①, f. 194	
1-060	1-060	3-21	BAL①, f. 198v	
1-061	1-061	3-22	BAL①, f. 202v	
1-062	1-062	9-11	BAL①, f. 206	
1-063	1-063	9-12	BAL①, f. 210	
1-064	1-064	7-30	BAL①, f. 215v	
1-065	1-065	3-23	BAL①, f. 219	
1-066	1-066	3-24	BAL①, f. 224v	
1-067	1-067	4-25	BAL①, f. 228v	
1-068	1-068	9-13	BAL①, f. 232 BNP③, f. 17v (Cap. 1)	1566。九大2017。BNP③では 68の章数が消された後に1と 書かれている。
1-069	1-069	9-14	BAL①, f. 234v BNP③, f. 20 (Cap. 2)	九大2017
1-070	1-070	9-15	BAL①, f. 239 BNP③, f. 24 (Cap. 3)	九大2017
1-071	1-071	9-16	BAL①, f. 242 BNP③, f. 27v (Cap. 4)	九大2017

校訂本部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
1-072	1-072	9-17	BAL①, f. 246 BNP③, f. 31 (Cap. 5)	九大2017
1-073	1-073	9-18	BAL①, f. 248 BNP③, f. 33 (Cap. 6)	九大2017
1-074	1-074	4-26	BAL①, f. 253 BNP③, f. 37v (Cap. 7)	九大2017
1-075	1-075	4-27	BAL①, f. 256 BNP③, f. 40v (Cap. 8)	
1-076	1-076	4-28	BAL①, f. 261v BNP③, f. 45v (Cap. 9)	1567
1-077	1-077	4-29	BAL①, f. 265v BNP③, f. 51 (Cap. 10)	1568
1-078	1-078	4-30	BAL①, f. 269 BNP③, f. 54 (Cap. 11)	
1-079	1-079	4-31	BAL①, f. 274v BNP③, f. 59 (Cap. 12)	
1-080	1-080	9-19	BAL①, f. 277 BNP③, f. 61v (Cap. 13)	
1-081	1-081	9-20	BAL①, f. 280 BNP③, f. 64v (Cap. 14)	1569
1-082	1-082	7-31	BAL①, f. 285v BNP③, f. 70 (Cap. 15)	
1-083	1-083	4-32	BAL①, f. 288 BNP③, f. 72v (Cap. 16)	
1-084	1-084	4-33	BAL①, f. 293v BNP③, f. 77v (Cap. 17)	
1-085	1-085	4-34	BAL①, f. 297v BNP③, f. 81v (Cap. 18)	
1-086	1-086	4-35	BAL①, f. 303 BNP③, f. 86v (Cap. 19)	
1-087	1-087	4-36	BAL①, f. 307 BNP③, f. 90v (Cap. 20)	
1-088	1-088	4-37	BAL①, f. 314 BNP③, f. 97 (Cap. 21)	
1-089	1-089	4-38	BAL①, f. 320 BNP③, f. 102v (Cap. 22)	
1-090	1-090	4-39	BAL①, f. 326 BNP③, f. 108v (Cap. 23)	

フロイス史料研究事始

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
1-091	1-091	4-40	BAL①, f. 328v BNP③, f. 111 (Cap. 24)	
1-092	1-092	9-21	BAL①, f. 331v BNP③, f. 114v (Cap. 25)	1570
1-093	1-093	7-32	BAL①, f. 335v BNP③, f. 118 (Cap. 26)	
1-094	1-094	4-41	BAL①, f. 339 BNP③, f. 121v (Cap. 27)	1571
1-095	1-095	4-42	BAL①, f. 347 BNP③, f. 129 (Cap. 28)	
1-096	1-096	9-22	BAL①, f. 351 BNP③, f. 133v (Cap. 29)	1572
1-097	1-097	9-23	BAL①, f. 353v BNP③, f. 135v (Cap. 30)	1573
1-098	1-098	9-24	BAL①, f. 355v BNP③, f. 137v (Cap. 31)	
1-099	1-099	9-25	BAL①, f. 359v BNP③, f. 141 (Cap. 32)	
1-100	1-100	9-26	BAL①, f. 362v BNP③, f. 144 (Cap. 33)	
1-101	1-101	4-43	BAL①, f. 367 BNP③, f. 148 (Cap. 34)	
1-102	1-102	4-44	BAL①, f. 371 BNP③, f. 151v (Cap. 35)	1574
1-103	1-103	4-45	BAL①, f. 375 BNP③, f. 156 (Cap. 36)	BNP③ではここから1574年とある。
1-104	1-104	10-27	BAL①, f. 380v BNP③, f. 160v (Cap. 37)	
1-105	1-105	4-46	BAL①, f. 384v BNP③, f. 164v (Cap. 38)	1575
1-106	1-106	7-33	BAL①, f. 387v BNP③, f. 167v (Cap. 39)	
1-107	1-107	10-28	BAL①, f. 390 BNP③, f. 169v (Cap. 40)	
1-108	1-108	10-29	BAL①, f. 391v BNP③, f. 171v (Cap. 41)	1576
1-109	1-109	10-30	BAL①, f. 394v BNP③, f. 174 (Cap. 42)	

校訂本部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
1-110	1-110	10-31	BAL①, f. 398 BNP③, f. 177 (Cap. 43)	
1-111	1-111	10-32	BAL①, f. 401v BNP③, f. 180v (Cap. 44)	
1-112	1-112	10-33	BAL①, f. 403v BNP③, f. 182v (Cap. 45)	1577
1-113	1-113	7-34	BAL①, f. 408 BNP③, f. 186v (Cap. 46)	
1-114	1-114	7-35	BAL①, f. 411v BNP③, f. 190 (Cap. 47)	
1-115	1-115	10-34	BAL①, f. 415v BNP③, f. 193v (Cap. 48)	1578
1-116	1-116	10-35	BAL①, ff. 417v-423v BNP③, f. 195v (Cap. 49)	
			AHU①, ff. 299-304	Prologo と Taboada
2-001	2-001	7-36	AHU①, f. 304v BNP③, f. 201v (Cap. 50)	
2-002	2-002	7-37	AHU①, f. 307v BNP③, f. 204 (Cap. 51)	
2-003	2-003	7-38	AHU①, f. 311 BNP③, f. 207v (Cap. 53)	BNP③は52の章番が抜けている
2-004	2-004	7-39	AHU①, f. 315v BNP③, f. 211 (Cap. 54)	
2-005	2-005	7-40	AHU①, f. 319 BNP③, f. 214v (Cap. 55)	
2-006	2-006	7-41	AHU①, f. 322 BNP③, f. 217v (Cap. 56)	
2-007	2-007	7-42	AHU①, f. 326 BNP③, f. 221 (Cap. 57)	
2-008	2-008	7-43	AHU①, f. 329v BNP③, f. 224v (Cap. 58)	
2-009	2-009	7-44	AHU①, f. 332 BNP③, f. 227 (Cap. 59)	
2-010	2-010	7-45	AHU①, f. 334v BNP③, f. 229v (Cap. 60)	
2-011	2-011	10-36	AHU①, f. 338v BNP③, f. 233 (Cap. 61)	

フロイス史料研究事始

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
2-012	2-012	7-46	AHU①, f. 339v BNP③, f. 234 (Cap. 62)	
2-013	2-013	7-47	AHU①, f. 343v BNP③, f. 238 (Cap. 63)	
2-014	2-014	7-48	AHU①, f. 347 BNP③, f. 241 (Cap. 64)	1579
2-015	2-015	7-49	AHU①, f. 350 BNP③, f. 244v (Cap. 65)	
2-016	2-016	7-50	AHU①, f. 352v BNP③, f. 247 (Cap. 66)	
2-017	2-017	7-51	AHU①, f. 358v BNP③, f. 252v (Cap. 67)	
2-018	2-018	10-37	AHU①, f. 360v BNP③, f. 254v (Cap. 68)	
2-019	2-019	10-38	AHU①, f. 362v BNP③, f. 256v (Cap. 69)	1580
2-020	2-020	10-39	AHU①, f. 367v BNP③, f. 261v (Cap. 70)	
2-021	2-021	7-52	AHU①, f. 371 BNP③, f. 264v (Cap. 71)	
2-022	2-022	7-53	AHU①, f. 373v BNP③, f. 267 (Cap. 72)	
2-023	2-023	7-54	AHU①, f. 380 BNP③, f. 273 (Cap. 73)	
2-024	2-024	10-40	AHU①, f. 383v BNP③, f. 276v (Cap. 74)	
2-025	2-025	5-47	AHU①, f. 386v BNP③, f. 279 (Cap. 75)	
2-026	2-026	5-48	AHU①, f. 391v BNP③, f. 283v (Cap. 76)	
2-027	2-027	5-49	AHU①, f. 395 BNP③, ff. 286v-298v (Cap. 77)	BNP③には末尾にモンター ニャの注記がある
2-028	2-028	5-50	AHU①, f. 408	
2-029	2-029	5-51	AHU①, f. 413	
2-030	2-030	5-52	AHU①, f. 416, f. 173v BNP③, f. 395v (Cap. 78)	
2-031	2-031	5-53	AHU①, f. 420v, f. 177v BNP③, f. 400 (Cap. 79)	

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
2-032	2-032	5-54	AHU①, f. 425v, f. 181v BNP③, f. 404 (Cap. 80)	
2-033	2-033	10-41	AHU①, f. 428v, ff. 184v-185 BNP③, f. 407 (Cap. 81)	※
2-034	2-034	10-42	AHU①, f. 431v BNP③, ff. 409v-413v (Cap. 82)	
2-035	2-035	10-43	AHU①, f. 436v BNP③, f. 416 (Cap. 83)	1582
2-036	2-036	10-44	AHU①, f. 442 BNP③, f. 421 (Cap. 83b)	BNP③は章番が重複
2-037	2-037	10-45	AHU①, f. 446v BNP③, f. 425 (Cap. 84)	
2-038	2-038	8-55	AHU①, f. 449v BNP③, f. 427v (Cap. 85)	
2-039	2-039	10-46	AHU①, f. 455 BNP③, f. 432v (Cap. 86)	
2-040	2-040	5-55	AHU①, f. 457v BNP③, f. 434v (Cap. 87)	
2-041	2-041	5-56	AHU①, f. 462 BNP③, f. 438v (Cap. 88)	
2-042	2-042	5-57	AHU①, f. 465v BNP③, f. 442 (Cap. 89)	
2-043	2-043	5-58	AHU①, ff. 468v-474v BNP③, ff. 445-450v (Cap. 90)	
			BNP①, f. 115	Rezoës do P.e Valignani
2b-001	2-044	10-47	BNP①, f. 117	1583
2b-002	2-045	10-48	BNP①, f. 121	
2b-003	2-046	8-56	BNP①, f. 123v	
2b-004	2-047	1-01	BNP①, ff. 129-135	1583-1584年の天正遣欧使節関係の記事がつづく。表1 参照。
2b-005	2-048	10-49	BNP①, f. 185v	1584
2b-006	2-049	10-50	BNP①, f. 187v	
2b-007	2-050	10-51	BNP①, f. 189v	
2b-008	2-051	10-52	BNP①, f. 192v	
2b-009	2-052	10-53	BNP①, f. 194v	
2b-009b	2-053	10-54	BNP①, f. 199v	
2b-010	2-054	10-55	BNP①, f. 201v	



フロイス史料研究事始

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
2b-011	2-055	8-57	BNP①, f. 205v	
2b-012	2-056	8-58	BNP①, f. 211v	
2b-013	2-057	1-02	BNP①, f. 214v	
2b-014	2-058	1-03	BNP①, f. 218	
2b-015	2-059	10-56	BNP①, ff. 221v-226	1585-1586年の天正遣欧使節関係の記事がつづく。表1 参照。
2b-016	2-060	11-57	BNP①, f. 293v	1585
2b-017	2-061	8-59	BNP①, f. 299v	
2b-018	2-062	8-60	BNP①, f. 306	
2b-019	2-063	8-61	BNP①, f. 312v	
2b-020	2-064	8-62	BNP①, f. 315v	
2b-021	2-065	8-63	BNP①, f. 318v	
2b-022	2-066	1-04	BNP①, f. 324	
2b-023	2-067	1-05	BNP①, f. 326	
2b-024	2-068	1-06	BNP①, f. 331v	
2b-025	2-069	1-07	BNP①, f. 335v	
2b-026	2-070	5-59	BNP①, f. 339	
2b-027	2-071	8-64	BNP①, ff. 343v-346	末尾にモンターニャの注記がある。1586年の記事がつづく。表1 参照。
2b-028	2-072	8-65	BNP①, f. 360v	1586
2b-029	2-073	11-58	BNP①, f. 366	
2b-030	2-074	1-08	BNP①, f. 369v	
2b-031	2-075	1-09	BNP①, f. 372	岡本1942
2b-032	2-076	1-10	BNP①, f. 378	岡本1942
2b-033	2-077	5-60	BNP①, f. 382v	
2b-034	2-078	11-59	BNP①, f. 387	
2b-035	2-079	1-11	BNP①, f. 389v	
2b-036	2-080	8-66	BNP①, f. 399	
2b-037	2-081	11-60	BNP①, f. 402	
2b-038	2-082	11-61	BNP①, f. 406	
2b-039	2-083	11-62	BNP①, f. 409v	
2b-040	2-084	8-67	BNP①, f. 413	
2b-041	2-085	8-68	BNP①, f. 418	
2b-042	2-086	8-69	BNP①, f. 425	
2b-043	2-087	8-70	BNP①, f. 429	1587
2b-044	2-088	1-12	BNP①, f. 435	

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
2b-045	2-089	8-71	BNP①, f. 441v	
2b-046	2-090	11-63	BNP①, f. 444v	
2b-047	2-091	11-64	BNP①, f. 448	
2b-048	2-092	11-65	BNP①, f. 453	
2b-049	2-093	1-13	BNP①, f. 455v	
2b-050	2-094	1-14	BNP①, f. 460v	
2b-051	2-095	8-72	BNP①, f. 466	
2b-052	2-096	1-15	BNP①, f. 474	
2b-053	2-097	1-16	BNP①, f. 478	
2b-054	2-098	1-17	BNP①, f. 485	
2b-055	2-099	1-18	BNP①, f. 490v	
2b-056	2-100	5-61	BNP①, f. 497	
2b-057	2-101	11-66	BNP①, f. 503v	
2b-058	2-102	8-73	BNP①, f. 507v (Cap. 48)	
2b-059	2-103	1-19	BNP①, f. 512 (Cap. 49)	
2b-060	2-104	11-67	BNP①, f. 523 (Cap. 50)	
2b-061	2-105	11-68	BNP①, f. 529 (Cap. 51)	
2b-062	2-106	5-62	BNP①, f. 532v (Cap. 52)	
2b-063	2-107	11-69	BNP①, ff. 540v-545v (Cap. 53)	
3-001	2-108	11-70	BAL②, f. 1 BNP②, f. 1	1588。九大2014a
3-002	2-109	11-71	BAL②, f. 6v BNP②, f. 8	九大2014a
3-003	2-110	2-20	BAL②, f. 10v BNP②, f. 14	九大2014a
3-004	2-111	5-63	BAL②, f. 15v BNP②, f. 20v	九大2014a
3-005	2-112	8-74	BAL②, f. 19v BNP②, f. 25v	九大2014b
3-006	2-113	11-72	BAL②, f. 23 BNP②, f. 30	九大2014b
3-007	2-114	11-73	BAL②, f. 26v BNP②, f. 35	
3-008	2-115	11-74	BAL②, f. 30 BNP②, f. 40	
3-009	2-116	2-21	BAL②, f. 32v BNP②, f. 43	

フロイス史料研究事始

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
3-010	2-117	11-75	BAL②, f. 37 BNP②, f. 48v	
3-011	2-118	11-76	BAL②, f. 44v BNP②, f. 58v	
3-012	2-119	11-77	BAL②, f. 49v BNP②, f. 65	
3-013	2-120	5-64	BAL②, f. 51 BNP②, f. 67	
3-014	2-121	8-75	BAL②, f. 54v BNP②, f. 71	
3-015	2-122	8-76	BAL②, f. 59 BNP②, f. 77v	
3-016	2-123	11-78	BAL②, f. 62 BNP②, f. 82	1589
3-017	2-124	11-79	BAL②, f. 67v BNP②, f. 89	
3-018	2-125	11-80	BAL②, f. 70 BNP②, f. 92v	
3-019	2-126	11-81	BAL②, f. 72v BNP②, f. 95v	
3-020	2-127	11-82	BAL②, f. 74 BNP②, f. 97v	
3-021	2-128	11-83	BAL②, f. 77v BNP②, f. 102	
3-022	2-129	11-84	BAL②, f. 79 BNP②, f. 104v	
3-022b	2-130	11-85	BAL②, f. 81v BNP②, f. 107v	
3-023	2-131	8-77	BAL②, f. 85v BNP②, f. 112v	
3-024	2-132	8-78	BAL②, f. 89 BNP②, f. 117	
3-025	3-001	11-86	BAL②, f. 93 BNP②, f. 121v	1590。岡本1948
3-026	3-002	11-87	BAL②, f. 96 BNP②, f. 125v	
3-027	3-003	11-88	BAL②, f. 100v BNP②, f. 130v	

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
3-028	3-004	11-89	BAL②, f. 104 BNP②, f. 135	
3-029	3-005	12-90	BAL②, f. 113 BNP②, f. 146	
3-030	3-006	12-91	BAL②, f. 116 BNP②, f. 150	
3-031	3-007	12-92	BAL②, f. 121v BNP②, f. 156v	
3-032	3-008	8-79	BAL②, f. 123v BNP②, f. 159v	
3-033	3-009	5-65	BAL②, f. 125 BNP②, f. 161	
3-034	3-010	2-22	BAL②, f. 130 BNP②, f. 167	
3-035	3-011	12-93	BAL②, f. 132v BNP②, f. 171	1591-1592
3-036	3-012	2-23	BAL②, f. 135 BNP②, f. 173v	岡本1948
3-037	3-013	2-24	BAL②, f. 139v BNP②, f. 179	岡本1948
3-038	3-014	2-25	BAL②, f. 145 BNP②, f. 186	岡本1948
3-039	3-015	2-26	BAL②, f. 149 BNP②, f. 191	岡本1948
3-040	3-016	2-27	BAL②, f. 155 BNP②, f. 199	岡本1948
3-041	3-017	2-28	BAL②, f. 158v BNP②, f. 203	岡本1948
3-042	3-018	5-66	BAL②, f. 160v BNP②, f. 206	岡本1948
3-043	3-019	12-94	BAL②, f. 163v (Cap. 44) BNP②, f. 209v (Cap. 44)	岡本1948
3-044	3-020	12-95	BAL②, f. 166v BNP②, f. 213v	岡本1948
3-045	3-021	12-96	BAL②, f. 168v BNP②, f. 216v	岡本1948
3-046	3-022	12-97	BAL②, f. 172v BNP②, f. 221v	

フロイス史料研究事始

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
3-047	3-023	12-98	BAL②, f. 174 BNP②, f. 223v	岡本1948
3-048	3-024	12-99	BAL②, f. 178v BNP②, f. 229v	
3-049	3-025	2-29	BAL②, f. 181v BNP②, f. 233	岡本1948
3-050	3-026	2-30	BAL②, f. 186 BNP②, f. 239	岡本1948
3-051	3-027	2-31	BAL②, f. 189v BNP②, f. 243v	
3-052	3-028	12-100	BAL②, f. 193 BNP②, f. 248	
3-053	3-029	12-101	BAL②, f. 198v BNP②, f. 255	
3-054	3-030	5-67	BAL②, f. 204 BNP②, f. 262v	
3-055	3-031	2-32	BAL②, f. 206 BNP②, f. 265	
3-056	3-032	12-102	BAL②, f. 210 BNP②, f. 270	
3-057	3-033	12-103	BAL②, f. 212 BNP②, f. 272	
3-058	3-034	12-104	BAL②, f. 216v BNP②, f. 277v	1593
3-059	3-035	12-105	BAL②, f. 222 BNP②, f. 284	
3-060	3-036	12-106	BAL②, f. 226v BNP②, f. 291	
3-061	3-037	12-107	BAL②, f. 233 BNP②, f. 299	
3-062	3-038	12-108	BAL②, f. 237v BNP②, f. 306	
3-063	3-039	8-80	BAL②, f. 240 BNP②, f. 309	
3-064	3-040	5-68	BAL②, f. 242 BNP②, f. 312	
3-065	3-041	5-69	BAL②, f. 246 BNP②, f. 317	

校訂本 部・章	邦訳	初版本 巻・章	稿 本	備 考
3-066	3-042	12-109	BAL②, f. 250 (Cap. 56) BNP②, f. 322	
3-067	3-043	12-110	BAL②, f. 254 (Cap. 57) BNP②, f. 326v	
3-068	3-044	2-33	BAL②, f. 255v (Cap. 58) BNP②, f. 328v	
3-069	3-045	2-34	BAL②, f. 259 (Cap. 59) BNP②, f. 332v	
3-070	3-046	2-35	BAL②, f. 261v (Cap. 60) BNP②, f. 335v	
3-071	3-047	2-36	BAL②, f. 264v (Cap. 61) BNP②, f. 339	
3-072	3-048	2-37	BAL②, f. 267 (Cap. 62) BNP②, f. 341v	
3-073	3-049	2-38	BAL②, f. 270 (Cap. 63) BNP②, f. 345v	
3-074	3-050	2-39	BAL②, f. 275 (Cap. 64) BNP②, f. 351v	
3-075	3-051	2-40	BAL②, f. 277 (Cap. 65) BNP②, f. 353v	BNP②では51の数字が消されて75と書かれている
3-076	3-052	2-41	BAL②, f. 282 (Cap. 66) BNP②, f. 359	
3-077	3-053	2-42	BAL②, f. 285 (Cap. 67) BNP②, f. 362v	
3-078	3-054	2-43	BAL②, f. 286v (Cap. 68) BNP②, f. 364v	
3-079	3-055	2-44	BAL②, f. 289v (Cap. 69) BNP②, f. 368	
3-080	3-056	2-45	BAL②, ff. 292v-294v (Cap. 70) BNP②, ff. 372-374v	九大2010

#### 備考欄

1-068～1-074（九大2017）：服部英雄解説・曾田菜穂美翻訳訳注「翻訳・フロイス『日本史』1部68～74章」（2017年）

2-033（※）：この章はAHU①の2箇所（ff. 428v-431v, ff. 184v-185v）にはほぼ同様に記されているが、後者は完全ではなく、校訂本第3巻272頁55行目の「prosperidades, vito =」までで終わっている。

2b-031～2b-032（岡本1942）：岡本良知『天正14年大坂城謁見記』（笠原書店、1942年）

3-001～3-004（九大2014a）：服部英雄解説・曾田菜穂美訳・解説「翻訳・フロイス『日本



- 史』3部1～4章』（『比較社会文化』20、2014年）  
 3-005～3-006（九大2014b）：服部英雄解説・曾田菜穂美訳・訳注「翻訳・フロイス『日本史』3部5～6章』（『地球社会統合科学』21、2014年）  
 3-025, 3-036～3-045, 3-047, 3-049, 3-050（岡本1948）：アンリー・ベルナル、アブランシェス・ピント、岡本良知編訳『九州三侯遣欧使節記 続編』（東洋堂、1948年）  
 3-080（九大2010）：服部英雄・Gilberto Nascimento（翻訳部分）「フロイス『日本史』V部80章：松田毅一・川崎桃太翻訳の検証」（2010年）

## おわりに

本稿で整理した情報の大半は、すでに先行研究で指摘されているものである。実際に稿本を前に、とりわけ松田毅一氏の著述を紐解くと、まさに同氏が描写したとおりの存在形態で現存していることが理解できるし、校訂本の翻刻が的確であることもわかる。その一方で、それらの記述は、とりわけ初学者が、たとえば邦訳のある部分が、校訂本や稿本のどこに対応するのだろうかとの疑問を抱いた際に、すぐに答えを見いだせるような書き方をしているとはいいい難い。すなわち、稿本を目の前にすればわかりやすい記述も、それとは縁遠い状況では難解の一言に尽きるといわざるを得ない印象を筆者自身が抱いていた。

かつてフロイス自身が執筆したはずの原本の所在が確認できない現在において、点在する諸稿本と校訂本を対照させる困難は、ポルトガル語圏など海外でも共通するはずである。日本の学界に固有の問題として、それらのポルトガル語版と邦訳とを照合させる際の困難がある。これらの問題を解決するためには、稿本、校訂本、邦訳本をひとつおり把握した上で、それぞれがどのような構成をしているかを比較する作業が前提として必須である。本稿は、こうした作業を消化し、以上の複雑さを可視化した上で、稿本、校訂本、邦訳本を照合する便宜を提供することを意図している。各本の照合にあたっては、便宜上校訂本の秩序を基準としたものの、フロイスの原本から現状に至るまでには、それとは異なる章番号が存在していることも、調査の過程でこれまで以上に明確になった。

著名なフロイス『日本史』の、知られざる難解さを本稿が多少なりとも解消し、本格的研究が開始される端緒となれば幸いである。

## 注

- (1) ルイス・フロイス（岡田章雄訳注）『ヨーロッパ文化と日本文化』（岩波文庫、1991年）。ポルトガル語版はLuís Fróis, *Kulturgegensätze Europa-Japan* (1958); (*Tratado em que se contem muito susintae abreviadamente algumas contradições e diferenças de costumes antre a gente de Europa e esta provincia de Japão: erstmalige, kritische Ausgabe des eigenhändigen porugiesischen Froistextes in der Biblioteca de la Académia de la História in Madrid*) / mit

- deutscher Übers., Einl. und Anmerk. von Josef Franz Schütte, (Monumenta Nipponica 15) (Tokyo: Sophia Univ., 1955)、Luís Fróis, *Euroa Japão, Um Diálogo Civilizacional no Século XVI*, José Manuel Garcia ed. (Lisboa: Comissão Nacional para as Comemorações dos Descobrimentos Portugueses, 1993) がある。前者はドイツ語訳注がつく。
- (2) ルイス・フロイス (岡本良知訳註)『九州三侯遣欧使節行記』(東洋堂、1942年)。  
ポルトガル語版(フランス語訳注)はLuís Fróis, *La Première Ambassade du Japon en Europe 1582-1592*, J. A. Abranches Pinto, Yoshitomo Okamoto, Henri Bernard ed. (Tokyo: Sophia University, 1942)。
- (3) 松田毅一『近世初期日本関係南蛮史料の研究』風間書房、1967年、214頁。
- (4) 松田毅一 1967年前掲書、236頁。
- (5) ルイス・フロイス (結城了悟訳)『日本二十六聖人殉教記』(聖母の騎士社、1997年)。  
スペイン語版はLuís Fróis, *Relación del Martirio de los 26 cristianos crucificados en Nangasaqui 15 febrero de 1597*, Romualdo Galdos ed. (Rome: Pontifica Universidad Gregoriana, 1935)
- (6) 松田毅一 1967年前掲書、221～222頁。
- (7) 岡本良知『ポルトガルを訪ねる』(日葡協会、1930年) 9～10頁。カルロス・アルベルト・フェレイラの名は同書の「はしがき」にも見える。
- (8) 岡本良知編訳『九州三侯遣欧使節記 続編』(東洋堂、1948年) 序4頁。東洋文庫へ譲渡されるに至った経緯が引用部につづく。